

恐縮でございますが
エチケットにご注意

関東ゴルフ連盟(KGA)は、かつて関東オープンゴルフ選手権という競技を主催していた。戦後の昭和25(1950)年の創始で通算50回の大会が開かれてきたが、諸般の事情から平成11(1999)年をもって、長い歴史の幕が閉じられた。

「当時の関東のアマ、プロのトップクラスは、出場することを夢見て研鑽に励んだ」と、福田彰氏(KGA元理事長)は同選手権50年史で述べているほど重要な競技だった。

この選手権は戦後の混乱期、霞ヶ関CCを接収していた米軍倶楽部(ジョンソンGC)から「米将兵たちの中には、ゴルフ愛好者が多い。アマチュアの賞品は我々が準備する。日本のプロとの交流の機会を設けたい」と持ちかけられ、第1回大会は同年5月11日、12日に開催された。

KGAは戦後の復活から2年目、財政的に競技会を開くようなゆとりはなかった。参加は関東のプロ、アマに米軍将兵の腕自慢を含めて85人。中村寅吉が72ホールスコア292で優勝した。

第2回大会は小金井CCで開かれたが、こども米軍に接収されていたため、KGAは参加者にこう呼びかけた。

《誠に恐縮でございますが、小金井CCは空軍の専用になっています関係上、外国人ならびにその家族らの来場者が多いことから、特にエチケットにご注意……》という異例の通達文(写真)を発送した。



思えばKGAは、戦後の混乱期から作法を重視し、遵守を強く訴えてきた。その伝統はいまも変わらない。関東オープンが関東アマに次いで戦後、二番目に復活したKGAの競技で、この時から《ベストアマ》という言葉が使われるようになった。

文責／福島 靖(KGA広報委員会参与)

平成23年度 関東ミッドアマチュアゴルフ選手権
決勝競技

平成23年9月27日～29日 エントリー 143名 出場136名

ランク	名前	所属	1R	2R	3R	OUT	IN	Total
1	高橋 雅也	川越	70	75	70	35	35	215
2	水上 晃男	袖ヶ浦	72	72	73	37	36	217
3	渡辺 泰一郎	日本海	69	77	74	36	38	220
4	和田 博	東京五日市	69	79	74	37	37	222
5	小寺 聡司	習志野	70	75	78	39	39	223
6	豊島 豊	東千葉	73	76	75	39	36	224
7	森 光弘	葉山国際	77	75	73	35	38	225
	金子 光規	レインボー	76	71	78	39	39	225
	舘 英樹	富士笠間	69	76	80	39	41	225
10	速藤 仁史	成田東	76	76	74	39	35	226
11	澤田 信弘	茨城	75	80	72	38	34	227
	高橋 薫	高坂	75	76	76	39	37	227
	勝又 正浩	東京	78	73	76	37	39	227
	齋藤 恭正	成田ハイツリー	74	75	78	38	40	227
	中島 正春	皐月・佐野	72	71	84	41	43	227
16	有我 栄一郎	鶴舞	73	76	79	40	39	228
	日暮 俊明	扶桑	76	75	77	38	39	228
	石毛 昌則	新千葉	76	74	78	39	39	228
	小川 文平	サンヒルズ	69	80	79	39	40	228
	川崎 邦朗	江戸崎	74	76	78	37	41	228
	杉山 稔	総武	73	74	81	38	43	228
22	竹原 洋行	横浜	74	77	78	39	39	229
23	矢吹 龍一	水戸グリーン	73	77	80	43	37	230
24	小川 直康	セベ・バレストロス	78	76	77	41	36	231
	梅澤 吉朗	初穂	78	77	76	39	37	231
	金 浩延	宇都宮	78	78	75	38	37	231
	森田 聡史	GMG/八王子	74	77	80	41	39	231
	會田 一	鶴舞	75	75	81	42	39	231
	茅野 弘喜	諏訪湖	72	82	77	37	40	231
30	風間 智行	小田原・松田	78	75	79	40	39	232
	和田 貴之	栃木ヶ丘	74	81	77	37	40	232
32	増田 秀仁	クリアビュー	74	82	77	39	38	233
	柳澤 信吾	袖ヶ浦	77	77	79	41	38	233
	饒田 剛央	東京国際	78	75	80	41	39	233
	山口 賢一郎	富士小山	76	78	79	40	39	233
	木下 輝洋	皐月・佐野	78	78	77	37	40	233
	中村 憲司	水戸	77	75	81	41	40	233
	関澤 誠	ツインレイクス	76	76	81	39	42	233
39	稲川 大次郎	メイプルポイント	80	78	76	42	34	234
	渡部 富夫	ゴールデンレイクス	80	77	77	38	39	234
	浅田 哲也	富士笠間	79	79	76	37	39	234
	木名瀬 和重	水戸	75	75	84	44	40	234
	松田 永基	清川	80	75	79	36	43	234

以上、日本ミッドアマチュアゴルフ選手権出場有資格選手								
	有馬 昌宏	玉造	72	81	81	37	44	234
45	中山 親美	霞台	77	80	78	39	39	235
	黒滝 公彦	エーデルワイス	74	81	80	40	40	235
	小野 竜彦	オリムピック	71	81	83	41	42	235
	金森 祐介	富士チサン	77	78	80	38	42	235
49	溝井 献也	扶桑	78	77	81	43	38	236
	才記 正明	扶桑	82	76	78	37	41	236
	村越 元彰	央戸ヒルズ	77	75	84	41	43	236
52	細谷 祐生	茨城ロイヤル	77	79	81	41	40	237
	奥田 堅太郎	セベ・バレストロス	77	79	81	39	42	237
	野田 憲正	東京カントリー	75	80	82	40	42	237
	江川 健一	千葉桜の里	75	78	84	40	44	237
56	溝端 隆一	千葉	77	79	82	41	41	238
	榎本 剛之	袖ヶ浦	78	76	84	41	43	238
	中原 正人	大相模	75	79	84	41	43	238
	義澤 秀雄	東名厚木	78	77	83	39	44	238
	渡辺 幹根	スプリングフィルズ	74	78	86	40	46	238
	真辺 則光	総武	76	82	80	42	38	238
62	永井 英輔	東京国際	79	79	81	40	41	239
63	中上 浩三	浜野	75	80	85	45	40	240
	峯 真吾	東京五日市	76	81	83	43	40	240
	籠手田 安朗	大厚木	78	76	86	43	43	240
66	小山 宏充	佐久平	79	77	85	46	39	241
67	相馬 聡夫	茨城	77	81	84	46	38	242
	木村 和紀	央戸ヒルズ	77	79	86	44	42	242
69	河邊 博和	中津川	80	78	85	44	41	243

和田博君は1996年日本ミッドアマ、2000年日本アマ、2007年関東ミッドアマでも優勝の、強豪選手だ。



「難しいグリーンとピン位置でしたが、自分としては出来過ぎでしょう」と、5位入賞の小寺聡司君。

のようなデッドヒートを展開する。インに入って、手堅くパーを重ねる水上に対して、高橋は高い球で積極的に攻める。そして迎えた16番ホール。「今日のハイライトでしょう。ホールローテーションはグリーン最奥で、攻めるなら畳にして2帖分ほどです」(朝の委員会内で内藤KGA競技委員長)

高橋は3番ウッドでティーショットし、残り150ヤードから2オン。ここまでは10ホールをバーできた水上は、高橋



大接戦に18番グリーンサイドの観衆から温かい拍手。



昨年はプレーオフで惜敗した中島正春君。今年は11位タイ。



16番バーディー(右)、17番では惜しくもパーを逃した(左)水上晃男君。

との1打差を追いつくために勝負に出た。ドライバーから次打の残り120ヤードで、狭い2帖分を狙った。結果はグリーン奥のカラーへ。

10位ほどあっただろうか、水上はチップインバーディーを決めて大きくガッツポーズ。この瞬間に両者は並んだのだが、高橋も7位を入れてバーディーとし、1打のリードを守った。

17番は水上のアプローチショットが、木の枝に当たるアンラッキーもあってボギーとし、2打差で最終のパー5へ。08年の日本ミッドアマを獲って勝ち方を知っている高橋は、手堅くパーで念願の初優勝を飾った。



社会人選手たちの競技らしく、礼節の中にスポーツ本来の持つ爽やかさを感じる。



ホールアウトの瞬間、高橋君は天を仰いで大きく深呼吸。

左から、4位の和田博君、2位の水上晃男君、優勝の高橋雅也君、3位の渡辺泰一郎君、5位の小寺聡司君。